

1. 授業の概要(ねらい)

生涯にわたる“学び”について、心理学的視点から解説する。

2. 授業の到達目標

学びに関する心理学の基礎用語を説明することができる。

学ぶ意欲を高める方法を説明することができる。

知識獲得のために、効果的な方法を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

中間試験20%,レポート30%,学期末試験50%で総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

指定しない。資料を用いて授業を進める。

参考文献

宮川充司, 大野久他(著) 『子どもの発達と学校 第3版 I発達と学習の心理学』 ナカニシヤ出版

5. 準備学修の内容

事前に配布・指定した資料や書籍を読み、内容を把握して質問等のメモを作成する必要がある。

授業で配布した資料、ノートなどを読んで復習し、LMSを利用した中間試験を受験する必要がある。

6. その他履修上の注意事項

第1回イントロダクションに必ず出席し、この授業の進め方をよく理解したうえで受講すること。期限内に第1回授業の授業課題をLMS上で提出することで、出席となる。受講に際して、欠席した場合の不利益が大きいため注意すること。また、この授業は資料配布や試験・課題等でLMSを利用するので、使い方を習得しておくこと。

授業計画は、進行状況に応じて調整する場合がある。※「学びの心理」は火1および水3の2コマ同じ内容で開設されている。 ※受講希望者が多数の場合は抽選を行う可能性がある。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(オンデマンド)
- 【第2回】 「学ぶ」とはなにか
- 【第3回】 学びのプロセスに関する基礎的研究:代表的な学習理論
- 【第4回】 学ぶ意欲を高めるには:動機付け①(内発と外発,動機の階層性)
- 【第5回】 学ぶ意欲を高めるには:動機付け②(社会的動機)
- 【第6回】 記憶:記憶する,忘却する
- 【第7回】 記憶:記憶の変容と意味
- 【第8回】 知能とは,知能の獲得(オンデマンド)
- 【第9回】 知の発達:学齢前までの発達
- 【第10回】 知の発達:学童~大人への発達
- 【第11回】 学びにおける障害
- 【第12回】 個性に応じた教育
- 【第13回】 大人になってからの学び
- 【第14回】 “生涯学習のすすめ”
- 【第15回】 まとめ